

(令和7年度予算分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 宮城県大河原町

本事業の担当部局名 子ども家庭課

事業メニュー	ライフデザイン・結婚支援重点推進事業							
区分	重点メニュー							
関連事業メニュー	1.2.2 若い世代の描くライフデザイン支援							
個別事業名	思春期保健事業					新規/継続 (一般財源での 実施も含む)	継続	
実施期間	令和8年4月1日			～	令和9年3月31日		事業開始年度 令和5年度	
総事業費(A)(円)	49,000		交付金その他の収入予定額(B)(円)	0		差引額(A-B)(円)	49,000	
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額	49,000							
費用内訳(円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費	
	総事業費	0	0	49,000	0	0	0	
	対象経費支出予定額	0	0	49,000	0	0	0	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	区分	委託料	使用料及び賃借料	負担金	補助金		計	
	総事業費	0	0	0	0		49,000	
	対象経費支出予定額	0	0	0	0		49,000	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0		0	
	○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。						
	自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け	<p><自治体における少子化対策の全体像>※全事業共通 こどもを産み、育てる世代に対する子育て支援に加えて、未成年も含めた若年層の結婚・妊娠・出産・子育てをライフプランとして考える機会を作り、理解促進を図る。</p> <p><本個別事業の位置付け> 思春期である中学生を対象に、自他の命の大切さ、社会のサポート体制、子育てについて理解深める講義・体験を行う。また、そのなかで男女ともに子を産み育てることをライフプランとして見通しを持てるような内容を盛り込むことで、子育てに対する気運醸成を図り、少子化対策に資する取り組みを行うもの。</p>						

番号	項目	内容
1	講義・体験	<p>対象者 講義①:町内中学校1校 2年生 約30人 講義②、体験①②:町内中学校2校 3年生 約200人 講義③:町内中学校1校 3年生 約30人</p> <p>項目 ○講義 ①結婚し子どもを産み育てるといったライフプランを考えるなかで、子育てについてイメージが持てると同時に、自分の行動に責任を持って生きることの大切さについての意識の醸成を図る。また、不安を一人で抱え込まないよう、社会のサポートを紹介し、必要時に活用できることを知る機会とする。</p> <p>②妊娠～子育てについて学ぶことで、親が子を思う気持ちや周囲のサポートに気が付き、自分の命がかけがえないものであると意識することで、自己肯定感の強化を図る。</p> <p>③性的な発達に対応し適切な行動がとれるよう正しい知識を習得すると同時に、自他の尊厳について考える機会とする。また、卒後の相談先として、必要時に活用できるよう社会のサポートを紹介する。</p> <p>○体験 ①妊婦シミュレーター着用体験 妊婦の日常生活を送る上で大変さを体験し、妊婦や家族への思いやりの心を育む。 ②赤ちゃん人形のオムツ交換・抱っこ体験 手技の基本を体験することで、大切に育てられたことに気付いたり、子育てのイメージを持つ機会とする。</p> <p>○アンケート ①事前アンケート:講義③の前にアンケートをとり、生徒が関心があることについて講義に盛り込む。また、助産師が質問に答える等、学びを深められるよう工夫する。 ②事後アンケート:子育て等に関する意識の変化について確認し、次年度事業に活かす。</p> <p>○周知 本事業について中学校の保健だより等に掲載し、家庭でも話題にできるよう保護者にも周知する。</p>
<p><過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)> ・R7年度事業の完了はR8年2月13日の予定のため未完了。 ・男性の育児参加について理解を広めること。→男子生徒も自分にも関係のあることと認識しやすいよう、男性職員による子育て体験談も含めて講義した。</p>		

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	1年間の出生数		人	150以上 (R10年度)	118 (R6年)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.25 (R5年)	
	婚姻件数		件	74 (R6年)	
婚姻率			3.2 (R6年)		
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
	(アウトプット)				
	①	参加目標人数(延べ)	人	274 (R8年度)	228 (R7年度見込)
	②				
	③				
	④				
	⑤				
	(アウトカム)				
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	80 (R8年度)	97 (R7年度見込)
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	---	---
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	80 (R8年度)	79 (R7年度)
	④	授業を受けて子育てに対する理解が高まった生徒の割合	%	80 (R8年度)	98 (R7年度見込)
⑤	人生設計について考えるきっかけとなった生徒の割合	%	80 (R8年度)	95.8 (R7年度)	
⑥	自他を大切にすることについて理解が高まった生徒の割合	%	80 (R8年度)	95.8 (R7年度)	
⑦					
⑧					